

月刊

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザインは、横浜市内の資源回収業者の組合(137業者が加盟)による
市民と組合員にリサイクルの情報・回収の実情を伝えるための情報誌です

エコロジーリフォーム

…再生への道をたどる人々2 ●ササキミチコ



ません。砂場は砂漠のように深く、自然の中にとけ込んでいます。スライドからですが、簡素で温かな雰囲気を感じとれました。

三尾さんは環境配慮の観点から、社会的建築を考える必要があると話します。シュタイナー学校はその一例ですが、発足時から自然な物を取り入れ、化学的な物質を排してきた歴史をもっています。

建築物に化学合成された塗料・接着剤、壁材などを多用すると、問題が生じることがあります。シックビルシンドロームと称される現象です。

▼建築物の状況

シックビル症候群の存在は一九七五年、デンマークで発表されました。ビルで働く人に、頭痛・無気力・湿疹・鼻炎といった心身の不調が多く見られることが問題となったのがきっかけでした。窓が開かず空調によって換気するビルには、新鮮な空気が入りません。ビルに設備された空気の再循環システムは、内装材や事務用品から発生する化学物質の濃度を高めていきます。過敏な反応を示す人だと、めまい、吐き気がし、息が詰まりづらいといった症状が現れます。

化学物質過敏症はさらに遡って一九五一年に米国で発見され、別名

私はこの春、住まいを直してもらったばかりで、建築をおもしろく感じています。リサイクルデザイン五三号で紹介した、エコロジーリフォームネットワークが学習会を催すと聞き、参加しました。エコロジーリフォームとは単に建物の増改築を指すのではなく、「環境に配慮した住まい方」に変えていこうという意味なのだそうです。

今回のテーマは社会的建築のあり方で、講師は主宰者の三尾秀紀さん。学習会は、米国シアトル『シュタイナー学校』のスライドで始まりまして、シアトルはマイクロソフト社やボーイング社といったハイテク企業が多く、エッジシティと呼ばれる先端都市です。一方シュタイナー学校は、ハイテクとは対極的存在です。木造校舎で、壁はしっとりベージュのワックス仕上げ。建物が主張せず、子どもたちを包み込むような空間です。幼稚園では金属の遊具は見かけ

二〇世紀病ともいいます。日本の現代病は、何十年も前から欧米で起きていたのです。三尾さんが冒頭で紹介したシュタイナー学校の例は、「人間も自然界の一部なのだから、より近い自然の物で住まいを作れば無理が生じない」という至極単純な理屈を示しています。

▼エコ商品の広がり

次のスライドは会員制の生協のようなマーケット、『PCC』。オーガニックフーズなどの食品が主体で、環境に配慮した建築材情報も扱っています。米西海岸は環境問題に関心を持つ人が集まり住み、こうした商品への需要が大きいため、PCCのようなマーケットが成り立つのです。

次はドイツ最大の環境保護団体、『ブンド』が主催する見本市、エコメッセ。種々の木材・亜麻仁油や密ろうのワックス、炭・イエローシダーの防虫剤、柑橘やハーブを抽出した塗料・洗剤などエコロジカルな商品を先駆的に展示してきました。断熱材で目を引いたのが、塩水に漬けて防燃性をもたせた古紙ファイバー。羊毛・綿・やし・コルクくずなど不用品や再生品が生かされます。

▼環境建築を作る

学習会が終わると、参加した人たちが自然に交流を始めました。ひのきの端材利用で安価な家作りをすすめる人、自宅の新築を計画している人、炭シートや断熱材を紹介する人と、建築を接点にいろいろな立場の人々が集まっていました。施工者はカタログ見本だけでなく、建材の実際に触れてもらい充分な説明、いわばインフォームドコンセントをして、建築主を選択と判断をさせます。その上で自分の家をどう建てるか、どんな家を買うかは、住む人の自己責任の範囲ですという、三尾さんの話に、「なるほど」と思いました。個人住宅は大きな買い物。よほどしっかり向き合わないといけません。

三尾秀紀さんは四三才。東京大田区で建設会社を経営、設計施工を手がけています。建築業を営む家に生まれましたが、大学では当初、法学を専攻し、後に建築学へ移りました。環境工学に関心をもち、一〇年前いままの仕事を始める時、環境建築をテーマにしまし

た。先代とはいささか路線の違う、三尾建設四代目です。

これまで同様の考えを持つ建築仲間と、個々の経験を聞き合う会を開いてきました。国内外の自然素材やエコロジー建材を使いこなすための情報交換の場です。「例えば、ケナフや月桃紙とはどんな性質を持つ材料か、壁紙として使う場合の施工法は」と、扱ったことのある人が講師になって勉強しあうのです。

これがエコジョーリフォームネットワークの発足でした。さらに、「作るだけでなく、現場から出るゴミの廃棄まで考えなくてはエコロジカル

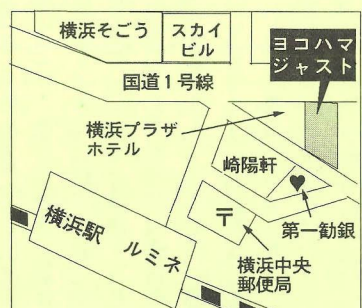
表示	分別品目	再資源品
木くず	不用木製型枠材・不用造作・木製梱包材	パーティクルボードやダンボールの原料・燃料・肥料
石こうボード	石こうボード	再生石こうボード・土地改良用添加剤
コンクリート	コンクリート塊 モルタルくずなど	再生砕石
ダンボール	ダンボール	再生紙
金属くず	金属くず	再生金属
その他廃棄物 混合廃棄物	塩ビ管・ガラスくず・グラスウール・コーキングくず・ビニールシートなど	中間処分場・リサイクル工場・最終処分場

表1 建築現場における分別例

第5回 リサイクルデザインフォーラムを開催します

今回のテーマは「集団回収の真実」。ゴミニスト江尻京子さんの講演と、パネルディスカッションを行います。ぜひご参加ください。参加者には、小結くんと新聞紙ストッカーをプレゼントします。席に限りがありますので、お早めに電話でお申し込みください。

- 日時／11月14日（日）13時～（開場は12時30分）
- 会場／ヨコハマジャスト（崎陽軒旧館）横浜駅東口下車徒歩3分
- 申し込み・問い合わせ／横浜市資源リサイクル事業協同組合
☎045・316・4050 FAX 045・316・6050
- 主催／横浜市資源リサイクル事業協同組合 ●後援／横浜市



「と言えない」と、三尾さんたちは沖縄、神戸、豊島と産廃の行き先を見つけてきました。

▼廃材分別でコスト減

建築過程では様々な廃材が出ます。「作業員の食べた弁当カスから空き缶までいっしょくたにゴミにしてしまふのが現場の実態です」。九七年に三尾さんたちは、建築廃材とゴミを分別収集するシステムを作り、実践を始めました。「分別なんて現場の人間は面倒がりますよ。建築屋のオヤジさんに納得してもらうためには、コスト減を実証するしかありません」と、まず廃材サミットをネットワーク主催で開きました。

建築廃材の分別収集システムとは、七つくらいの進捗状況、規模の似た

建築現場をまず

まとめます。そ

れぞれの現場に

分別用の回収ボ

ックスを置き廃

材をためて、回

収トラックが巡

回収集するとい

うものです。こ

れで木くずやコ

ンクリート・石こ

うボード・金属くずは再資源化できます。すべてを産廃として処理業者に委託するのに比べ、分別すると費用は少なくて済みました。大手の建設会社なら自前でやれても、九割を占める中小建設には困難。しかしグループでなら可能で、コスト減に加え事業体としての社会的責任を果たすことにつながります。

小規模現場では上記の回収ボックス。中規模は現場にストックヤードを設けます。大規模なところは大型コンテナを設置。現場責任者には講習会でシステムの説明をし、各現場では末端作業員まで浸透するよう、分別収集への協力を求めます。「ゴミを減らすことがコスト減になる」という動機づけがあつてはじめて、廃材分別は広がりを持ちました。ネットワークの実践例を基に『住まいの環境協会』が発足し、建築廃材回収をテーマに活動しています。

▼エコ建材を常設展示

同じ年、三尾さんは自社の事務所の一角に、建築材の展示スペースを作りました。名付けて、『エコバンク東京』。建築主、施工業者が各自の目で見、直に触れるための場所として公開されています。手作りの木の台・

棚に、内外から取り寄せた壁材、床材、畳表、塗料、ワックス類が並びしり。三尾さんは水に浸した布で畳表を拭いて、「どちらがいい畳表かわかりますか。畳表に使う草は泥につけて保存しています。マラカイトグリーンで着色していると、こうなります」と示しました。布に色が移る畳表は、有害な着色防カビ剤を使用。使っていない畳表は干し草のような色です。「ユーザーが事前に材料に触れる機会」を三尾さんは大事に考えています。本業に加え、ネットワークの動き、矢継ぎ早の取り組みと、多忙を極めている中で、施行者側の責任としてゆるがせにしない姿勢が感じられました。他のネットワーク会員もそれぞれ手元に材料を置いていと聞きます。「二世紀に生き残る企業形態は、もはや環境が必須条件」と、三尾さんは強烈なメッセージを発し続けます。個人住宅が住む人の責任とすれば、学校・地区センター・デイサービスなど地域の建物、ゴミの焼却処分場や庁舎といった巨大建造物をどう作るかは市民の責任だなど思いました。心地よい建築物を増やしていけば、社会全体を変えていくことができるはず。まずは身近な社会的建築の観察から。

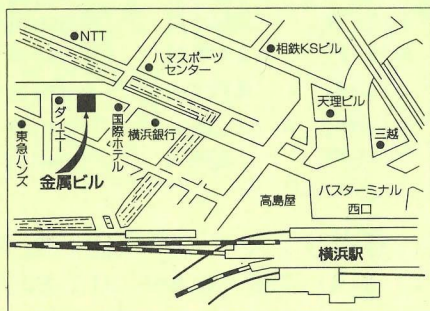
横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務所移転のお知らせ

これまでの事務所が手狭になったため、移転しました。
小結くん・再生紙などの販売も行っています。

●新住所／〒220-0005

横浜市西区南幸2-16-22 金属ビル3階

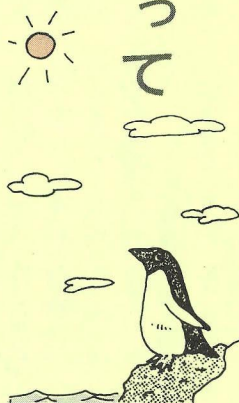
●電話・ファックスの番号は変更ありません。



エコ・コラム 3

オゾンホールって なんだろう？

長谷川卓史^{たかし} (ストップ・フロン横浜・ローランド・モリーナ会)



地球に穴を開ける地球人！毎年九月の後半ごろ、「今年もオゾンホールが過去最大規模になりました」というニュースを聞いたことがあると思います。下の図は、昨年九月二日のオゾンホールを表しています。

オゾンホールとは、南極の上空にあるオゾンが極端に減ってしまった状態のことを言います。オゾン層のオゾンが破壊されると、有害な紫外線が地上に降り注ぎます。一パーセントオゾンが破壊されると二パーセント有害紫外線が増加し、三パーセント皮膚ガンの発症率が増えると言われています。オゾンホールは普段の三〇パーセント未満のオゾンしかない状態のことを言うのですが、この下にいる人はどうなるのでしょうか。昨年のオゾンホールは日本の面積の実に七〇倍にも達しました。今年もほぼ同じ規模のオゾンホール、お空に穴があいてしまいました。この穴は、数ヶ月で一旦なくなります。そしてまた来年の秋になると南極で、また、春は北極で小規模ですが穴があ

きます。

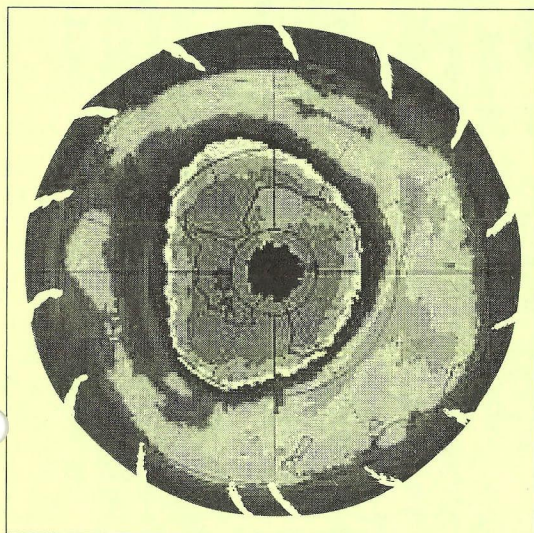
穴が開いたり、閉じたりするのは、大気の流れと、南極が冬になる時期に上空の大気が冷たくなると穴が開きやすくなるためです。でも、オゾンホールの原因は、私達が一〇年以上も前に捨ててきたフロンガスのせいなんです。そして、地球温暖化もオゾンホールを大きくします。フロンガスはオゾン層も破壊するわ、地球温暖化も起こすやらで、これを捨てるのは地球にダイオキシンを注射しているようなものです。

どうしても、フロンガスの問題は、「地球環境問題って大変ね、今すぐどうのこうのじゃないでしょ、よく分かんない」となってしまいましたが、次のように想像してみてください。

宇宙に今、青い星が一つあります。そこでは、

生命がその星のバリアーによって四億年守られていました。でもたった二〇年で、そのバリアーを自ら壊す種がいたのです。多くのその時代の生命を犠牲にして、その種は滅びました。

もし宇宙に他の知的生命が存在して地球のことを歴史に残してくれたなら、そのように記されるでしょう。オゾン層は、海の生命が何億年という気の遠くなるような歳月をかけて酸素を送り、作り上げた奇跡の産物です。地球の長い年月からすれば、光の速さに近い一瞬に、人はそのバリアーを壊しています。オゾンホールは、まだ当分の間、現れるでしょう。人に、その犯した罪を知らしめるために。



●コピー用紙 (新聞古紙 100% の再生紙)

平成 11 年 9 月現在

サイズ	入数	規格	1~2 ケース	3~9 ケース	10~19 ケース	20 ケース以上
A4	2500 枚	白 (白色度 70%)	2,080 円	1,730 円	1,630 円	1,560 円
		ピンク・イエロー・グリーン	3,660 円	3,120 円	3,000 円	2,950 円
B4	2500 枚	白 (白色度 70%)	3,180 円	2,590 円	2,440 円	2,340 円
		ピンク・イエロー・グリーン サーモン・パープル・ブルー	5,000 円	4,680 円	4,500 円	4,450 円
B5	5000 枚	白 (白色度 70%)	3,180 円	2,590 円	2,440 円	2,340 円
A3	1500 枚	白 (白色度 70%)	2,570 円	2,070 円	1,890 円	1,840 円

●コンピュータ用紙

入数	規格	1~9 ケース	10 ケース以上
2000 枚	白 (白色度 60%)	2,900 円	2,660 円

* この他の再生紙については、右記までお問い合わせください。

ご注文は

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045・316・4050 FAX 045・316・6050

今ではクリーニング店でもハンガーを再利用するようになりましたが、それでもわずかな変形で機械にはねられ、使えなくなるハンガーは時々出るものです。そこで、そういうものはいただけるようにお願いして、家庭で生かしてみたいかがでしょう。

▼費用ゼロ円二本型

元祖しわ寄らずハンガーは、サテンリボンと両面テープを使って二本のクリーニングハンガーを一つにし、既製品にはない機能をつけ加えたもの。では、サテンリボンの代わりに『伸び輪ひも』（婦人ストッキングの脚部分を二六センチの輪切りにして伸ばしたもの）を使うと…。ストッキングのひもは弾力性があるので、両面テープを使わずに二本のハンガーをしっかり固定することが可能です。費用ゼロ円のしわ寄らずハンガー（二本型）のできあがり！ストッキングの材質はナイロンなので、水に濡れやすい屋外でも使うことが可能に。色についてはサテンリボン同様、淡色系より黒や茶などの濃色系が、見た目にすっきりしているのをお勧めです。

▼もっと便利な四本型

次はもっと便利な四本型。これはクリーニングハンガーを四本まとめて一つのハンガーにしてしまう、と

いうもの。ハンガーの三か所を伸び輪ひもで固定するのは二本型と同じですが、今度は四本を連続して固めに結びながらつないでいき、余ったひも端はしっかり結びます（長く余ったら巻きつけて調節する）。

▼四本型の使い方

四本の針金は二本づつ分けて使うことができるので、ズボンなら一つ

地球を守る家事と工作

43

費用0円の しわ寄らずハンガー 2本型と4本型

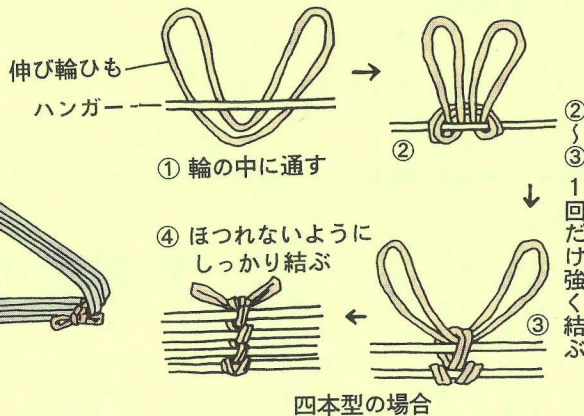
島 秀子

エコサイクル家事研究家



のハンガーに二枚掛けられ、スベアがあるズボンなどの収納が便利に。また肩部分に厚みがあるので、背広などを掛けることも可能です。スカーフやネクタイなら、今までのしわ寄らずハンガーの二倍量を収納できることになりました。

お店では更に丈夫に作ってリユ―



ス率を高める工夫をして欲しいのですが、こうして生かせば便利の上に家計も節約！ ささやかながら、『ゴミゼロ社会』へのお役にも立てます。
*1 しわ寄らずハンガーなどの作り方は、拙書『地球にやさしい家事のコツ』（大和書房 六六ページ、RD九七年六月号・九八年五月号で紹介

再生紙を使ってみませんか！

資源回収から生まれた再生紙です。

古紙配合率100%・白色度70% 長期保存にも優れた中性紙

●リサイクルボーイ トイレットペーパー

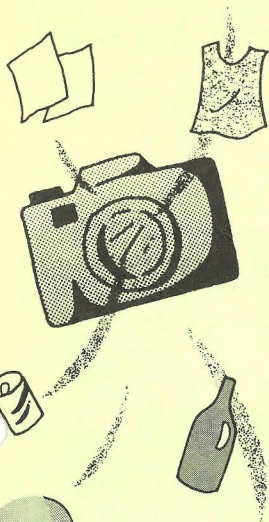
さわったお尻は忘れない

サイズ	1ケースの入数	規格	10ケース以下	11ケース以上
シングル(芯なし)	(1ケース8パック/1パック6ロール) 48個	130m	1ケース 3,360円	1ケース 3,000円

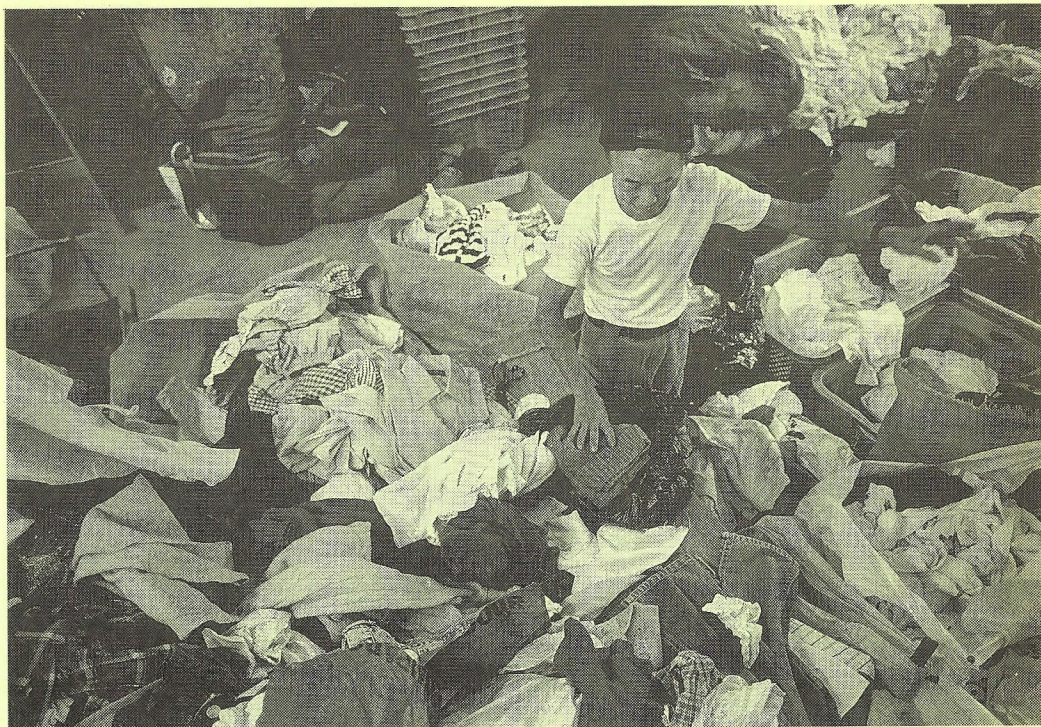
*上記価格は、1回のご注文につき1ケースあたり(各種・各サイズ込み)の価格です。消費税が別途かかります。
*配送は、受注後2~3日以内(土・日は除く)。送料は無料です。



ぼん太のポン 分別の達人



6



ぼん太とはリサイクルデザイン編集人。趣味の写真を誌上に生かそうと、リサイクルの現場へカメラを持って出かけています。今回からタイトルがかわりました。

どんなに機械化が進んでも、資源回収したものの分別は、まだまだ手作業でやっています。ファイバーリサイクルの場合、背広やジーンズなどのまだ着られる洋服は中古衣料、下着等の木綿類は工業用のウェス、と用途別に分別します。

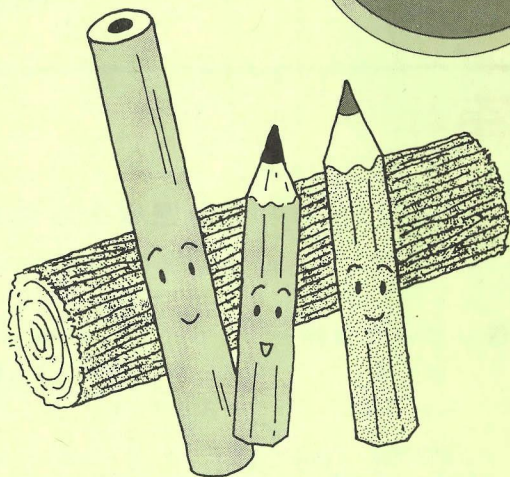
写真の人は大橋さんといって、この道30年以上という達人。山と積まれた古着を、あれよあれよという間に分別してしまいました。

シャープペンシルに押されて鉛筆全体の消費量は年々減少していますが、木の端材や古紙から作ったエコ鉛筆は、官公庁や学校のグリーン購入（環境に与える負荷ができるだけ少ない製品の購入）や、環境取得した企業などが意識して使うようになってきたため、需要を伸ばしています。

エコロジー製品に力を入れている三菱鉛筆の調べでは、エコ文具の需要は年々倍増しています。この伸びは文具自体の消費量の増加ではなく、従来品からエコ製品への移行が活発に行われている現れなのだそうです。

六割以上

この数字
なあんた？



参考資料／日本経済新聞九九年九月二四日

どうなってるの? リサイクル3

秋元金属はアルミを主体とした非鉄金属の原料スクラップ問屋です。アルミスクラップというのはアルミサッシや車のホイール・アルミ缶などアルミ製品のスクラップで、秋元金属では回収されたアルミ製品をシュレッダーで破砕処理してガラスや土砂などの混入物を取り除いた後、再生するためアルミ溶解メーカーに運んでいます。

「再生したアルミから、自動車のラジエターやエンジン、ホイールなどの部品や家電品を作ります。最近では車体を軽くすると車に負担がかからず燃費がよくなるため、フロント部分などにアルミを使う高級車が開発されるなどして、以前より車のアルミの使用量が増えてきましたね」

さまざまな実験の結果から、車の重さが一〇〇キロ軽くなると燃費は一リットル当たり一・一・五キロ程度向上し、燃費がよくなれば二酸化炭素の排出量が減る、ということがわかってきて、車のアルミ部品使用量は増える傾向にあります。最近のデータでは、車体の六・九パーセントがアルミで作られているのだそうです。

アルミ化を進めるうえで問題となるのが価格です。アルミの価格はコ

ストではなく相場場で決まるため不安定です。さらに輸入量が多いため為替に左右されるという問題があります。一九九六年の実績では、アルミを精錬した塊である新塊の輸入量は二四一万一千トン。これに対し国内での精練量は一万七千トンというのですから、輸入に頼るしかない状況にあることは間違いありません。

「この春から夏にかけて、国際相場は一本調子で値上がりしていました。そろそろ止まる様子を見せた六月頃、アメリカの大手精錬メーカー、アルコアの工場で爆発事故が起きた。操業再開まで一年半かかるという見通しが出たとたん、相場が反発して上昇するということになってきています。」

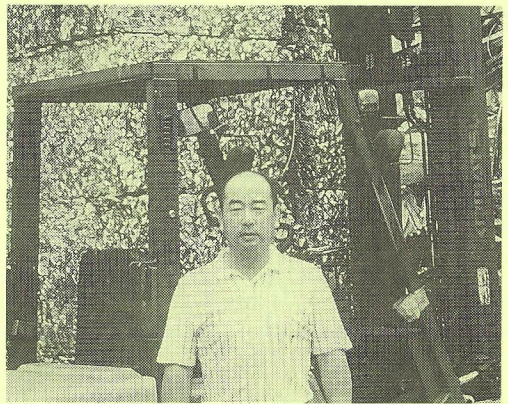
こんな具合ですから相場を知らない人が相場にかかわるのは大変だと思うけれど、ぼくはこの仕事を初めてから二〇年、ずっと相場をにらんで仕事をしてきていますから、身体に染み込んでいる。だから拒否反応は起きないし、未だかつて大損はしていません。まあ多少のハズレはありますけど(笑)。でも、ぼくは好きですよ。

アルミを扱う仕事は、こんなふう

とができます。アルミだけじゃない、鉄や古紙・古着なども今や国際商品として流通しているから、リサイクルの業界には為替が大きな影響を与えているという事です」

秋元さんは最近、クーラーを買って中国へ輸出する仕事を始めました。日本から運んだクーラーは細かく分解され、余すところなく利用されているのだそうです。現地で見えた分解からリサイクルに至る一連の作業は、リサイクルを仕事にできた秋元さんにとっても新鮮な驚きだったとか。

「中国では電線の中にある銅線を取り出すために周囲のビニールを野焼きしているというような話を聞いていたから、どう処理されているのか心配していたけれど、焼くと銅線が黒くなって売値が下がってしまうから、カッターを使って手作業でビニールをはずしていました。カッターで取り出せば、残ったビニール



■あきもと・やすおさん■非鉄金属の知識の宝庫。その源となるのは、「毎朝、新聞3紙はじっくり目を通して見ます」という姿勢。趣味はゴルフ。秋元金属株式会社は1963年に秋元さんの父が創業(当時は秋元金属商店)。秋元さんはサラリーマンを経て入社した。今年3月にはISO14001を取得している(くわしくはRD1999.9月号参照)。

アルミや鉄、古紙・古着も、今や国際商品として流通するようになりました。だからリサイクルの業界には、為替が大きな影響を与えています。

も売れるそうですよ。とにかく何一つ捨てないでリサイクルしてしまうからすごい。おしぼりの袋やゴムぞうりに至るまで、それぞれ専門に集める人がいて、集め終わるとリヤカーに乗せ自転車引いて高速道路を走って運んでいく光景が見られます。自分の目で、安心して送り込める状況であることを確認してきました。金属のリサイクルの仕事は波があつて大変な部分もある。でも、その金属の性質を知ったうえでかわると、いくらでもおもしろくできる仕事だとも思っています」

(さくら)

リサイクル 標準価格表

平成11年9月現在

品 名	買入価格*	業者の売値 9/30 日経新聞
新 聞	1kg ^{***} - 1 円	1kg 4.5~5 円
雑 誌	1kg ^{**} - 3 円	1kg - 1~0 円
段ボール	1kg ^{**} - 3 円	1kg 1.5~2 円
衣類くず	1kg ^{**} - 3 円	1kg 3 円
アルミ缶	1kg ^{***} 10~15 円	

* 集団回収には「買入価格」が適用されます

** 有料となります *** 有料となる場合があります

**** スチール缶などと選別してある場合の価格です

★ この価格は500kg以上集団回収する団体のみに適用されます
また取引条件により、多少の変化があります★ 事業所から発生したものは、集団回収の対象になりません
事業所ごとに、業者と直接ご相談ください★ 集団回収以外の段ボールの回収には、1回3,000円以上の
手数料がかかります

★ 段ボールは必ず束ねて出してください

オフィス古紙 共同回収  '99.8 参加企業12社 11,520kg 回収地域は横浜駅西口・ 新横浜の2か所	アルミ缶 店頭回収  '99.8 市内スーパー等 102店舗 71,170kg (4,124,439缶)	横浜橋通商店街 ダンボール回収  '99.8 11,130kg
---	--	--

プラスチックをリサイクルする主な方法には、形を作り替えて再生利用するマテリアルリサイクルと熱源として利用するサーマルリサイクルの2種類があります。

マテリアルリサイクルの大部分は、廃プラスチックを分別、同一種類ごとにペレットや顆粒状にしたうえで再生原料として使う方法で行われています。今のところプラスチックの種類が多く、単一種類の原料で作られていないものも多いため、実際にリサイクルされているプラスチックは採算をとりやすい産業廃棄物がほとんどです。廃プラスチックを分解して化学原料にするケミカルリサイクルという方法もあるのですが、コストが高いためなかなか進まないのが現状です。

サーマルリサイクルには、プラスチックを固形の燃料にして燃やし、燃料として使用する方法や、廃プラスチックを熱分解して燃料油にする方法などがあります。そのまま燃やさずに固形にするのは、腐敗を防止し長期間の貯蔵ができるようになる、輸送しやすくなる、発熱量が高くなるなどの利点があるため。このほかにプラスチックを原料にして発電する試みも始まっています。

いずれにしてもプラスチックのリサイクルは、メーカーが分別しやすい製品を作り、消費者は使った後にしっかりと分別し、それをきちんと回収するシステムを作り上げておかないと進んでいきません。

リサイクル
コンポイント講座

月刊 リサイクルデザイン
No.62 (Vol.6)

発行日 1999年10月15日

発行人 中野聡恭

編集人 宗村隆寛

発行所

横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号

金属ビル3階

TEL & FAX 045・316・5122

スタッフ

山岡秀明・武松昭男

杉山宜利・竹澤留美

イラスト いとうみき

編集・制作 よしのたかこ

印刷 オリジナルプランニング

古新聞は袋に入れずに紙ひもで束ねる。効率的に、ゴミを出さずにリサイクルするために、「小結くん」は生まれました。



今月の

こむすび
小結くん

10月2日と3日、リサイクルフェスタに参加したら、多くのことを知っている人がたくさん来てくれてうれしかった。11月7日には、「磯子まつり」(磯子駅前の産業道路で開催)に行くので、もっとたくさんの人に会えるといいな。最近では緑区役所と金沢区役所の売店、それからグリーンバザール(横浜市区南区六ツ川1-82-1 ☎045・712・8076)にもいるよ。(小結くんより)

1巻 長さ90m	価格	送料
バラ売り	1巻 250円	1~6巻 400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱 1箱 11500円 (1巻230円) 10箱~ 1箱 9500円 (1巻190円)	価格に 含まれます

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ ☎045・316・4050 FAX045・316・6050